

## 東京青梅RC社会奉仕事業・フードドライブについて

2019年7月30日に東京青梅ロータリークラブ第4回理事会において社会奉仕環境保全委員会の竹内美好委員長よりフードドライブの事業が議案として上程され、竹内委員長より事業内容、実施回数、実施日程等の説明があり、事業承認がなされました。

2019年9月15日に東京青梅ロータリークラブは社会福祉法人長淵福祉会（小嶋直之施設長）と「フードドライブに関する合意書」を締結し、締結後、佐藤利光会長は「食品ロスを減らし、必要とする人へと繋ぐ社会貢献に参加しよう」と語り、第1回フードドライブを開催致しました。フードドライブの事業の内容としては、お中元の時期とお歳暮の時期の例会時に会員よりお中元とお歳暮の余剰の品物を募り、社会福祉法人長淵福祉会に寄贈し、社会福祉法人長淵福祉会は地域の福祉団体等を支援するフードバンク青梅を通じて食事に不自由している高齢者、一人親家庭や子ども食堂に配布するという事業であります。第1回フードドライブは例会時の開催という事で会員より多くの食品の提供を受ける事が出来、事業実施後に社会福祉法人長淵福祉会に寄付しました。

2019年12月10日に第2回フードドライブを例会場にて開催。会員からとフードバンク青梅と子ども食堂「まゆだま」のある青梅市友田町自治会の人達から多くの食品のご寄付頂きました。

2020年に入り、フードドライブもコロナ禍により高齢者、一人親家庭等の更なる厳しい状況を踏まえ、より効率的な支援の実施という事で、事前にフードバンク青梅や子ども食堂等に食材のリクエストを確認しました。お米が足りないというリクエストが多く、会員にアナウンスをしたところ、多くのお米の提供を頂き、多くの方にカレーライス等の食事が配布出来たとの報告を受けました。

2020年9月29日の例会では多摩分区の東京秋川ロータリークラブより当クラブのフードドライブへ食材を寄付頂きました。フードドライブはコロナ禍に於ける多摩分区内での連携が出来る事業として発展致しました。

2020年11月24日の例会時に社会福祉法人長淵福祉会の小嶋直之施設長様に子ども食堂「まゆだま」とフードバンク青梅の運営とフードドライブの関係について卓話を頂きました。卓話の中では現在の我々の周辺にある貧困や格差の実態についても話し頂きました。

2021年3月30日に久しぶりの例会が満開のサクラ咲く新町御嶽神社の社務所をお借りして行われ、同時に永らくコロナ禍による例会の中止に伴い実施されなかったフードドライブを第3回目として開催しました。

第3回フードドライブが終了した後、フードバンク青梅の担当者に第二回緊急事態宣言解除後の食材の状況を確認したところ、お米が足りないという状況を知り、4月6日に従来のフードドライブとは異なるコロナ禍における緊急支援として社会福

社法人長淵福社会にお米500kgを寄付させて頂き、青梅市友田町にあるフードバンク青梅にて贈呈式を執り行いました。

2021年8月17日に第4回フードドライブを若林ガバナー公式訪問時の例会前より実施しました。今回はフードドライブ、フードバンク、子ども食堂を通じて本来の目的の一つである「食品ロス」についても考える機会の一助となればと思い実施致します。